

H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒ふるさとミュージアム		
所在地	生駒市山崎町11番7号		
指定管理者名	株式会社 地域文化財研究所	指定期間	開始日 平成 26 年 2 月 1 日 終了日 平成 30 年 3 月 31 日
利用料金制適用区分	利用料金制	評価実施年	指定期間 5 年のうち 4 年目
選定方法	公募		
設置目的	生駒の歴史を標榜し、市民のみなさんが過去・現在の生駒を思い、未来の都市像を予測して頂くための施設の設定		
主な実施事業等	常設展示、企画展示、特別展示、体験型普及啓発事業、講座、講演会、資料の収集・保存・調査・研究・普及活動等		

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
来館者数	人	12,000	10,811	223	
多目的室利用	件	300	351	61	

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	27,505,000	27,686,220	27,469,275
指定管理料		26,435,000	26,435,000	26,538,000
利用料金収入	C	270,000	241,470	235,915
自主事業収入		800,000	1,009,750	695,360
その他				
支出計	B	27,235,000	27,612,279	27,844,830
指定事業費		26,435,000	26,622,115	27,053,720
うち人件費	D	11,300,000	11,015,065	11,185,780
うち再委託料	E			
自主事業費		800,000	990,164	791,110
事業収支	A-B	270,000	73,941	-375,555
利用料金比率	C/A	0.009816397	0.008721667	0.008588323
人件費比率	D/B	0.414907288	0.398919082	0.40171838
再委託費比率	E/B			
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	(利用者アンケート)・意見箱の設置・その他( )
実施結果	意見内容等		対応実績等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒の歴史、関連する話が聞きたい</li> <li>駐車場が分かりづらい</li> <li>部屋が暑い、寒い</li> <li>いろんな展示が見られて良かった</li> <li>子どもが体験できるイベントを増やしてほしい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒の歴史文化に身近に触れ、継続的に学ぶことを目的に、新規の連続講座「生駒と歴史文化入門講座」を開催した。</li> <li>市と協議の上、市の予算で西側駐車場付近に案内看板が新たに設置され、来館者の利便性の向上が図られた。</li> <li>講座や講演会等、特に集客の多い空間では、快適に受講してもらえるよう温度調整をこまめに行った。</li> <li>夏、冬休み期間に来館してもらえよう、全小学校に体験教室やイベントなどのPRをした。</li> </ul>

5 管理運営状況評価

<p><b>施設の設置目的の達成（有効性）</b></p>	
<p>施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>「生駒ふるさとミュージアムの管理に関する基本協定書」、「生駒ふるさとミュージアム管理運営基本仕様書」、「生駒ふるさとミュージアム管理業務特記仕様書」に基づき、事業を実施している。また、事業報告において評価検証している。</p>
<p>市の評価</p>	<p>年間を通して事業計画に基づいた管理運営をされており、計画の変更等については月例会議時のほか、随時、市への報告、協議により適切な対応がなされている。</p>
<p>市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>年齢層に応じた方法による周知を行い、来館していただくための情報を提供している。講座については、希望された方には全員受講していただけるよう、会場のレイアウトの工夫等により対応している。また、新規の貸室利用者を増やす為、自主学習グループへ向けて利用案内を送付するほか、会議室としても利用していただけるよう広報等で周知をし、貸館の利用促進に供している。</p>
<p>市の評価</p>	<p>講座や特別展示、また学校見学や実習生の受入れなど、来館者の公平性や平等に配慮した対応がなされている。貸館手続については、モニタリング時に一部改善すべき点がみられたので、今後、対応をお願いしたい。</p>
<p>利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>来館者、イベントの参加者、講演会受講者からの様々な意見・要望を取り入れる為、計3種類のアンケートを行っている。アンケート結果の意見を活用し、次回への対策・改善に繋げていく。</p>
<p>市の評価</p>	<p>講座や特別展等の開催時には、アンケートの実施により多数の来館者からの意見聴取がなされている。要望や苦情にも遅滞なく対応されている。今後、アンケート結果の具体的な活用事例や改善例について、事業報告書の中でも示していただきたい。</p>
<p><b>経費の縮減等の効果（効率性）</b></p>	
<p>経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>使用者がいない時の部屋の電気や空調は適宜消すよう節電に心掛けている。温水機器などは常に節電モードに設定している。ミスプリント、チラシの裏紙を積極的に再利用し、コピー用紙購入の削減を行っている。ボランティアの協力で中庭の景観維持・植栽管理等を中心に行い、経費の削減に努めている。過去の書類は綴り紐を使用し、また、ファイルは再利用し書類の整理を行った。</p>
<p>市の評価</p>	<p>昨年度と比較して、コピー用紙の12%削減などエコオフィスの実践に継続的に取り組まれている成果もあり、経費の節減が実現している。引き続き、効率的な管理運営をお願いしたい。</p>
<p>収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>大河ドラマなどの影響による「戦国ブーム」を特別展のテーマとして取り上げたことで、来館者・収入の増加に繋がった。「お城ネット」というウェブページで特別展「戦国の生駒」が紹介され、口コミが広がったこともプラスの要因となった。今後もテーマ設定や展示内容に工夫を凝らすとともに、積極的なPR活動にもさらに力を入れ、集客と収入増を目指したい。</p>
<p>市の評価</p>	<p>企画展、特別展においては、時代のブームを取り上げたテーマ設定や関心を持てる展示内容など工夫を凝らし、見応えのある展示となっている。昨年度と比較して企画事業収入も増加し、幅広い世代に向けた魅力ある事業の展開を期待する。今後、さらに注目が集まるよう、効果的なPRにも力を入れていただきたい。</p>
<p><b>適正な施設の管理運営（適正性）</b></p>	
<p>施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>施設管理に支障が発生しない適切な人員数を配置している。各種研修会に積極的に参加し、従業員のスキル向上を図った。イベントなど人手のいる場合は、適宜ボランティアさんへ呼びかけ手伝いをお願いしている。生駒市図書館北分館との共同イベントで、縄文土器の文様をつけたクッキーづくりを行い、相互の集客率向上に努めた。また特別展・企画展の案内を奈良の情報誌に掲載してもらうなど、広範囲に向けて情報発信を行った。</p>
<p>市の評価</p>	<p>専門性の高いスタッフの配置により、来館者の展示物への満足度も高く、高いサービス水準が維持されている。引き続き、学芸業務に力を入れ、研究成果を幅広い世代に還元していただくことを期待する。本施設が地域に根差した性格を有することからも、地域や市民の方々との連携は必要であり、今後もボランティアの方によるサポートをはじめ、市民との協働を意識した取組に期待している。</p>
<p>自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）</p>	
<p>指定管理者による自己評価</p>	<p>歴史文化を身近に感じてもらえるよう、年間を通して様々なイベントを実施するとともに、常時利用できる体験学習や、定期的実施する講演会等により、博物館施設として市民に広くご利用頂ける環境を提供している。同時に、飲料の提供により快適性も追及している。</p>
<p>市の評価</p>	<p>新たな連続講座や多彩なイベントの実施により、集客も増え確実な収入増につながっている。一方、物販収入の減少がみられるので、販売促進の工夫がほしい。柔軟な発想で、本施設の魅力を活かした事業展開にも期待したい。</p>

安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	「生駒市個人情報保護条例」を遵守している。また、事故発生時の緊急連絡体制・事案については「危機管理マニュアル」に基づき、周知している。
市の評価	引き続き、個人情報の取扱いには細心の注意を払った対応をお願いしたい。施設の安全管理のうえでも、有事の際には誰もが行動できるよう定期的な訓練やマニュアルの再確認など、常に危機管理意識を持って施設の管理・運営にあたっていただきたい。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	当年度は、特別展や企画展の企画事業収入の増加や継続的な経費削減により、わずかではあるが黒字の収支となった。また、自主事業においても新規事業の実施により、収入増につなげることができた。今後も、施設本来の目的達成に向け、安定的な運営と質の向上を図りながら、来館者から高い満足度を得られるよう努めていきたい。
市の評価	当年度は、前年度からの継続的な史料保存にかかる事業費負担があったものの、経費節減や企画事業の充実により、黒字に転換された。自主事業においても新たな事業展開により、事業収入が伸びたことは大きな成果である。今後も指定管理者としての強みを活かした事業展開を期待する。

## 6 指定管理者の財務の状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
資産	18,995,837	20,711,696	21,051,022
流動資産	17,544,219	17,423,822	18,206,988
固定資産	1,451,618	3,287,874	2,844,034
負債	13,706,750	15,223,076	15,518,324
流動負債	5,592,598	8,736,924	9,330,324
固定負債	8,114,152	6,486,152	6,188,000
純資産	5,289,087	5,488,620	5,532,698
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	66,013,608	67,885,148	75,295,062
経常利益	1,320,420	39,756	308,988

## 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自己資本比率 純資産/資産×100	27.8%	26.5%	26.3%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	259.2%	277.4%	280.5%
固定比率 固定資産/純資産×100	27.4%	59.9%	51.4%
流動比率 流動資産/流動負債×100	313.7%	199.4%	195.1%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	10.8%	27.5%	24.3%
総資産回転率 売上高/資産×100	347.5%	327.8%	357.7%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	7.0%	0.2%	1.5%

## 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	年間来館者数は、少しずつではあるが、増加している。知名度はやや向上したが、まだまだ認知度を上げる必要がある。学校教育との関わりにおいては、本年度も前年度に引き続き市内全小学校3年生の見学を得た。中学校の職場体験・見学数も増加しているが、更に体験学習や出前講座等のPRを行い学校教育の一環に組み入れて頂くように提案し働きかけていきたい。また博物館実習生を積極的に受け入れ、大学機関との繋がりを深め、教育普及に貢献している。講演会や各種イベント等については、アンケート等をもとに市民のニーズに合ったものを計画立案していきたい。また、これらの取り組みを充実させるため、資料の調査、研究、収集、保存、活用、教育普及に努めていく。
市の評価	本市の歴史文化の普及啓発の拠点施設として、専門性を活かしながら多彩な事業を展開され、開館3年目の当年度においても一定の来館者数の水準を維持していることは評価に値する。史料の保存にも力を入れていただいております。今後、調査・研究の成果発表の場も計画していただきたい。施設の認知度は年々上がってきているものの、周知方法や媒体などさらなる工夫を重ね、積極的な広報PR活動をお願いしたい。引き続き、幅広い年齢層に本市の歴史文化を身近に感じ、関心を持ってもらえるような企画、郷土愛の醸成につながる事業の展開を期待している。